

キャラクター名
渚砂 亜璃栖 (なぎさ・ありす) Alice Grace Nagisa

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ モルフェウス	ワークス	中学生	カヴァー	中学生
オプション		年齢	14	性別	女
覚醒	感染	衝動	恐怖	初期侵食率	36 %
出自	姉妹	経験	海外生活	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	17
感覚	5	1	0		1	7	(非装備時)	17
精神	1	0	0		2	3	戦闘移動	22
社会	1	0	0		1	2	全力移動	44

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ストライクチップ	射撃	7r	-	7		マイナー使用宣言でダイス+2個 HR87
[B.E.T] ストライクチップ+小さな塵+コンセ	射撃	9r	-	9		マイナーで使用宣言要 侵蝕率+4
[B.E.T+] <射撃の加護>ストライクチップ+小さな塵+コンセ	射撃	11r	-	9		マイナーで使用宣言要 侵蝕率+7
[B.E.T] ストライクチップ+小さな塵+コンセ	射撃	9r	-	11		100↑ (ダイスボーナス未加算) マイナーで使用宣言要 侵蝕率+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
カジュアル	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
実験体	P	N		
渚砂 乃瑛理 (なぎさ のえる)	P 憧憬	N 猜疑心		
両親	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:エンハイ	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv:メジャーアクション								
リフレックス:エンハイ	2	2	リアクション	至近	自身	-	-	
効果: C値-Lv:リアクション								
砂の加護	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定ダイス+[Lv+1]個								
小さな塵	1	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 攻撃力Lv*2								
マスヴィジョン	1	4	Xジャー	-	-	対決	100↑	
効果: 攻撃力Lv*5 1S3回								
神の眼	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果: 知覚でドッジ								
鏡の中の人形	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象がリアクション失敗時代わりにドッジ								
ウサギの耳	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 遠くの音までよく聞こえるよ!								
無上厨师	★	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 大気等をつかってよく知っている料理に変える								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

成長したら取っていききたいエフェクトメモ: 優先度1: ミラーコート、ペナトレイト 優先度2: 砂加護上げて砂塵霊 優先度3: ショウタイム
今取っているものも全部レベルを上げていきたいですなんという器用貧乏\(^o^)/ ミスディレクションもあつたらいいですね(呪いの声)
少し余ったら…天使の絵の具もとりたいたいですね(͡° ͜°)

フランス系イタリア人の母と、日本人の父を持つハーフ。
両親はイタリアでカジノを経営しており、外目から見れば裕福な家庭。両親は非オーヴァードである。
9歳離れた姉があり、姉はオーヴァード。憧れの姉と過ごしていた時に、姉から感染し、オーヴァードとなった。
その特異性から、一旦実験体として施設に預けられるも、姉の手により元の家庭へと戻される。
「あなたは普通に生きてね。」と姉に言われるが、普通とはなにか、姉のように生きてはいけないうのか、自分はどうなりたいたのかを
悩み続けながら、普通を装ってイタリアの中学部に通い続ける悩めるお年頃。
姉から、「お守り」としてもらった「ストライクチップ」を小型ウェポンケースをペンダント型にして首からぶら下げている。
鬱屈としていた日々の中、枕元にあったチケットを手に、一人ローマの地下鉄道へ向かう。